



2019年8月23日

第13回キッズデザイン賞受賞について

マツダ株式会社(以下、マツダ)の子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン「子どもを死角から守る前方視認性」が第13回キッズデザイン賞(主催:特定非営利活動法人 キッズデザイン協議会)を受賞しました。マツダがキッズデザイン賞を受賞するのは、2014年の「子ども視点で開発する MAZDA TECHNOLOGY FOR KIDS」(内閣総理大臣賞)以降、6年連続となります。

キッズデザイン賞は、「子どもが安全に暮らす」「子どもが感性や創造性豊かに育つ」「子どもを産み育てやすい社会をつくる」という3つのデザインミッションを実現するための優れた製品・空間・サービスを選び、広く社会へ伝えることを目的とした顕彰制度です。受賞作品には、「キッズデザインマーク」の使用が認められます。今回の受賞対象は、次の通りです。

■ 子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン部門

受賞対象:「子どもを死角から守る前方視認性」



MAZDA3

マツダは、2014年の本賞受賞以降、さらなる安全性向上のため、地道に開発を継続し、「MAZDA3」において、前方視界を広く素早くクリアにするために進化したワイパーと、運転席から見えるAピラーの太さや形状を細かく作り込み、死角が広がらないようなAピラーの造形を採用しました。従来、ワイパーに関して、雨天時の運転席側Aピラー付近の拭き残しや、ウォッシャー液噴射による一瞬の視界不良、ワイパー不使用時の視界のさらなる拡大が課題でしたが、「MAZDA3」において、ワイパー払拭範囲の拡大、新採用のワイパーアームからのウォッシャー液噴射機構、ワイパー不使用時にボンネット下へワイパーを完全に格納することにより、これらの課題を克服しました。また、従来のAピラーとドアミラーの配置の工夫に加え、Aピラーそのものの形状を見直し、これまで以上に広い視界を確保することに成功しました。

マツダは、クルマ本来の魅力である「走る喜び」によって、美しい「地球」と心豊かな「人」・「社会」を実現し、人の心を元気にすることを目指しています。安全・安心で「走る喜び」にあふれたカーライフを通じて、お客さまの人生をより豊かにし、お客さまとの間に特別な絆を持ったブランドになることを目指してまいります。

以上

【ご参考】

■特定非営利活動法人 キッズデザイン協議会

<http://www.kidsdesign.jp/>